

2 形容詞を修飾する場合

副詞＋形容詞

例文：

This park is very beautiful.

↓ ↑

→→→

(この公園は とても 美しい。)

↓ ↑

→→→

この例文では、ただ単に「美しい」のではなく、「とても」をつけて「どのくらい」美しいのかを説明しています。

3 副詞を修飾する場合

副詞＋副詞

例文：

They practice baseball very hard.

↓ ↑

→→

(彼らは とても 熱心に 野球を練習します。)

↓ ↑

→→→

この例文では、ただ単に「熱心に」ではなく、「とても」をつけて「どのくらい」熱心なのかを説明しています。

またこの例文は、**very hard** が **practice** を修飾する、動詞を修飾するパターンでもあります。

2. 頻度を表す副詞

次に紹介する「頻度の副詞」は、一般動詞の直前、be 動詞の直後に置いて下さい。

1 always (いつも)

例文：

[be 動詞]

I am always hungry.

(私はいつもお腹が減っています。)

[一般動詞]

He always gets a perfect score.

(彼はいつも満点をとります。)

2 often (よく、しばしば)

例文：

[be 動詞]

You are often late for school.

(あなたはよく学校に遅刻します。)

[一般動詞]

We often go shopping.

(私たちはよく買い物に行きます。)

3 usually (たいてい)

例文：

[be 動詞]

I am usually at home.

(私はたいてい家にいます。)

[一般動詞]

He usually gets up at seven.

(彼はたいてい七時に起きます。)

4 sometimes (ときどき)

例文：

[be 動詞]

Mike is sometimes late for school.

(マイクはときどき学校に遅刻します。)

[一般動詞]

You sometimes eat natto.

(あなたはときどき納豆を食べます。)

3. too の注意すべき用法

too には、以下の二つの意味があるので注意して下さい。

1 ～すぎる

例文：

He got up too late.
(彼が起きるのは遅すぎました。)

It is too cold to swim.
(泳ぐには寒すぎました。)

2 ～もまた

例文：

I can play the piano, too.
(私もまたピアノを弾くことができます。)

too の直前のコンマは、意味上の混乱がなければ省略することがあります。

そして、「～もまた」の意味で使う too は、also の文に書き換えることができます。

I can play the piano, too.
= I can also play the piano.

余談

これもよくあった質問ですが、「副詞って何？」という人がいます。「動詞や形容詞を修飾する言葉だよ。」と教えても、「じゃあ、形容詞って何？」と返ってきます。

私も昔はそうでしたので、気持ちは非常にわかります。そういう方は、国語も勉強すべきだと思います。中学で同時に文法を学ぶはずなので、国語の文法が理解できたとたんに、「英文法が飛躍的にわかってきた」ということが多々あります。

英文法だけでなく、国語も重点的に学習してみてもいいのではないでしょうか。

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法